平成２６月１１月４日

下蒲刈小通信　海駅　第２１号

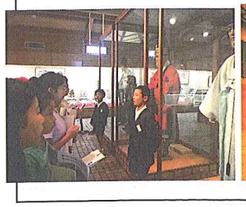
校長　富永　司

地域の伝統･文化・環境を生かした学校教育を

下蒲刈には，子ども達が学べるたくさんの文化があり，また地域や学校に継承されている豊かな伝統もあります。その財産を生かし，松濤園のガイド役，下蒲刈太鼓，わらじ作り，生活科・総合の時間による１年生から６年生までの地域の文化や自然との触れ合いを通した学習等の教育活動を進めています。その活動を通して，子ども達の身近で直接触れあう財産を大切にし，自分たちの学校に自信をもち，地域を誇りに思える子ども達に成長してもらいたいと願っています。

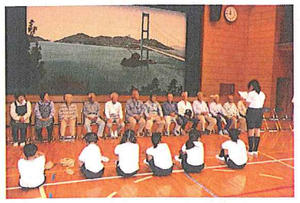
１０月，１１月には地域の皆さんと関わりをもった学校行事が多くあります。子ども達と直接触れ合ったり，活動を見ていただいたり，励ましていただくことはこの上ない喜びになり，活動意欲が更に高まっていきます。

下蒲刈にある価値を再発見する気持ちを大切にして，新たな取組を進めていきたいと考えています。４８名の子ども達と１２名の教職員が一つになって特色ある教育と新たな地域学習に取り組んでいきます。

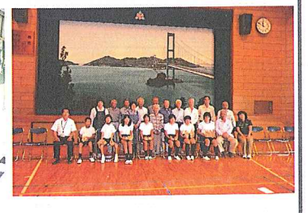





わらじ作り　９月２４日（水）





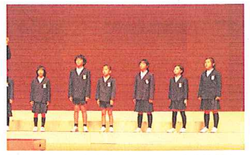



７名の６年生一人一人に，下蒲刈老人会の皆さんが熱心に指導していただき，立派なわらじを作ることができました。６年生は作る喜びを感じながらわらじ作りに真剣に取り組み，器械ではできない手作りのよさと昔の人の生き方を，わらじ作りを通して学んだようです。

下蒲刈ならではの文化的活動であり，地域の皆さんとの触れあう貴重な学習としての体験ができました。

このわらじ作りも１０年以上の歴史があり本校の伝統として大切に引き継いでいきます。

呉市小学校連合音楽会　１０月２４日（金）





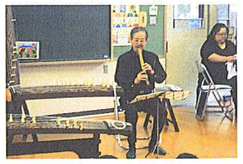
４年生１２名が一つになりきれいに歌声をそろえて，「地球星歌～笑顔のために」と「ぼくの下蒲刈」の２曲の合唱を発表しました。初めての文化ホールでの発表であり，緊張感もあったと思いますが，ホールいっぱいに響き渡る歌声でした。堂々とした態度で最後まで練習通りに歌いきれたという自信が伝わってきました。２曲目の「ぼくの下蒲刈」は，本校のオリジナルな曲だけあって，参観された数人の先生方から「とてもいい曲ですね。きれいな歌声でとてもよかったです。」という言葉をいただきました。学習発表会でも「ぼくの下蒲刈」を発表する予定です。山本先生には１学期から熱心にご指導いただき，ありがとうございました。

邦楽鑑賞会　１０月２７日（月）　５・６年生








呉三曲会５人の皆さんの協力で，２年に１度の邦楽鑑賞会がありました。琴と尺八を使って聴いたことのある「春の海」等演奏していただき，美しい和音の音色に聴き入っていました。体験コーナーでは練習用の尺八に挑戦し，音出しの難しさを体験しましたが，音が出たときは感動があったようです。琴でも，美しい音色を体験できたようで，「さくら」の１小節を響かすことができました。

洋楽器と違った音の響きに新鮮な感覚をもてたようで，邦楽に興味を高めることができた貴重な鑑賞会でした。

やつで




11月の木　びわ

いちょう



特別支援学校運動会　１０月２１日（火）





呉市特別支援学級合同運動会に１年生の石飛蒼士くんが参加しました。プログラムの「かけっこ」「電車ごっこ」「おいかけ玉入れ」「とんくん音頭」に出場しました。「かけっこ」では３０ｍをしっかりゴールまで走りきり，「電車ごっこ」では，おじいさんと一緒にフラフープを持って走りました。また「おいかけ玉入れ」では，特にがんばってたくさん玉を入れました。最後の「どんくん音頭」は参加しているたくさんの皆さんと一緒に踊ることができました。自分の種目を一生懸命がんばり練習の成果を出し切ることができました。

児童のがんばり

中国新聞　ヤングスポット掲載文紹介

ヤングスポット

デコポン作りぼくも

小学生　原田　航　10歳

「わあ、おいしそう」。ぼくが思わずさけんだのは、おじいちゃんが作っている下蒲刈のデコポンです。ぼくはその時、おじいちゃんのデコポン畑にいました。

おじいちゃんは、こだわりデコポンを作っています。苗木が育って実になるまで、7年かかるそうです。ぼくはそれを聞くだけで、大変そうだなと思いました。

ぼくが「おいしい」と言うと、じいちゃんは「そうじゃろうが。でも、これは出荷はできない。皮に傷が付いているから」と、ざんねんそうに言いました。

ぼくは、少しさみしくなりました。じいちゃんは夏の暑い日でも冬の寒い日でも、畑仕事をがんばっているのを知っているからです。皮に傷が付いていても、やっぱりおじいちゃんのデコポンは、心がこもっているからおいしいなと思いました。

ぼくは、おじいちゃんのデコポン作りを、お父さんといっしょに受けついでいこうと思います。（呉市）

４年　原田　航　くん
１０月１４日　朝刊より

母と同じかんごしに

小学生　沖原　心雪　10歳

「わあ、いそがしそう」。わたしは妹といっしょに、お母さんのつとめている下蒲刈病院に行きました。わたしのお母さんは、かんごしの仕事を一生けんめいにやっています。

お母さんは「今、いそがしいけん、外のいすにすわっときんさい」と言いました。わたしは、それでも中をのぞきました。するとお母さんは、仕事の人に何か大切なことを話していました。

わたしは、本当にいそがしいんだなあと思いました。すると横にいたかん者さんに、「あなたのお母さん、ちゅうしゃがすごうまいんよ」と言われました。わたしは少しうれしかったです。

わたしは、かんごしさんは、すべてのかん者さんの命をすくうために、たくさん勉強をしていることが分かりました。

わたしも、お母さんみたいに一生けんめいに勉強をして、かんごしになりたいです。そして、たくさんの命をすくいたいです。（呉市）

４年　沖原　心雪　さん
１０月１０日　朝刊より



＜呉市木工作品展＞
教育長賞
５年　中田　礼　くん

＜１１月の主な学校行事＞

４日（火）　子ども交通安全推進隊
５日（水）　下蒲刈中学校区小中一貫教育地域公開
　　学校関係者評価委員会
１５日（土）　学習発表会
１７日（月）　代休
２７日（木）　就学時健診